

「まちを知る 七北田を歩く―地域いきいきプロジェクト―」

泉区中央市民センター（地区館）×泉区中央市民センター（まち部）

1 事業概要

泉区中央市民センターの管内には、奥州街道の宿場町として1623年に始まった七北田宿があり、2023年に開宿400年となります。その節目の年を迎えるにあたり、令和2～4年度まで複数年で「いずみ探訪―地域案内人養成講座」を開催し、七北田地域の歴史資源を学んできました。今年度は、その学びを地域に発信し、奥州街道の宿場町だった歴史、史跡など古きを知ることで未来の自分たちのまちを考える機会となるようなまち歩きの講座を実施しました。講座では、「いずみ探訪」受講生から発足した自主活動グループ「七北田探訪会」が案内人となってまち歩きや地域の魅力・奥州街道についての講話を行い、参加した地域住民や親子と交流を図りながら、学んできた知識を地域に還元することを重視して実施してきました。



2 令和5年度の活動

6月には、一般住民を対象にまち歩きを実施しました。「七北田探訪会」の案内人が、自ら作成したガイドマップを基に七北田地域の史跡を案内しながら、1人1か所ずつ史跡についての講話を行いました。活動を通して、案内人たちはガイドボランティアとしての実践力を磨くことができました。また、歩くことによる健康増進もねらいとしており、参加者たちは最後まで元気よくまち歩きを楽しんでいました。

9月、10月には、小学生の親子を対象に七北田方面、市名坂方面と2回に分けてまち歩きを実施しました。子どもでも分かりやすいガイドをするために、言葉の選び方や問い掛け方、実物を使った視覚的な説明など、様々な工夫を凝らし、実践しました。参加した親子からは、「話が分かりやすかった」「身近な地域の歴史を知り、愛着がわいた」等の感想をいただき、充実したまち歩きになりました。



また、10月の市民センターまつりでは、館内の「泉・ふるさと生活ギャラリー」の展示物の紹介やまち歩きの映像の解説など、来館者に対して案内人が熱心に語り掛けていました。

3 成果と課題

3回のまち歩き講座を実施するにあたり、「七北田探訪会」の定例会を毎月開催し、まち歩きのルートへの検討やガイドの説明の準備、講座後の振り返り等を自主的に行い、実践と改善を繰り返してきました。その結果、参加者に地域の歴史資源を知る機会を提供し、愛着を深めてもらうことができました。また、対象者に合わせて説明の内容を工夫することで、案内人としてのスキルを向上させることができました。さらには、まち歩きを通して参加者同士の交流が深まり、体力向上、健康増進にもつながりました。

課題としては、講座の時間が伸びてしまったこと、親子対象の参加者が少なかったことがあげられました。まち歩きのルートを吟味し、講座の日取りや広報の仕方を工夫するなどして、より多くの地域住民や親子に興味・関心を持って参加できる講座にしていきたいと考えています。

4 今後の展望

「七北田探訪会」と連携して、より充実したまち歩き講座に発展させていきたいです。今後も「七北田探訪会」の案内人としての実践蓄積とスキルアップを支援し、自主的活動として長く地域に還元できるような仕組みを構築していきたいと考えます。

